

1月25日(火)は、平野先生による国語科の研究授業でした。本単元は、「子どもを守る動物について読み取りたり、話し合ったりしたことをまとめてお家の人に伝える」という単元ゴールを設定していました。授業と事後研究の様子をお知らせします。本時は、10/14時間目です。

単元名 「くらべてよんでおもったことをおうちの人につたえよう」 **全14時間**
教材名 「子どもをまもるどうぶつたち」 東京書籍 **1年1組 平野 幸 教諭**
身に付けさせたい力：比べて読み、似ているところや違うところを見つけたりわかったことや考えたことを伝える力



本時の板書 10/14

友達が調べた動物の子どもの守り方と似ているところや違うところはどんなところかな？



① 囲んで守るところが いっしょだな..

授業者のリフレクションシートより

主・刈・考えや思ったことを共有するには、もっと読んだことをもとに考えたり思いをもっていることが必要だと思った。読んだことをもとに自分なりの思いを持つには個人差があると思うので、ペアやグループでの話し合いを通して自分の思いを持てるようにするとよかった。

課題・言語活動のお家の人に学習したことを知らせることについて初めは乗り気だったが、単元を通して気持ちを持ち続けることができなかった。単元の計画が子どものものになっていなかったので、本気になることができなかったと思う。

見・考・1年生では調べた動物の似ているところと違うところにもっと目を向けて考えるようにしていくとよかった。

授業参観の視点(3点)に沿ってグループで協議を行い、全体共有しました。(抜粋)

- 1 本単元で身に付けさせたい資質・能力を育成するための主体的・対話的な学習の設定**
 - 本時の学習の見通し、話し合いのルールの確認ができていた。
 - 「どんなことを言われたい？」と話し合いの観点を子どもに出させていた。
 - ▼視覚的な支援がないと友達の発表を聞くだけでは比べるのが難しい。
 - ▼前時の学びが本時とつながって話し合いができていたのか。
 - ▼話し合いは、情報量が多くなりすぎて比べるのが難しくなるので、2人組がよかったのではないかな。
- 2 児童が本気になる課題の工夫**
 - 書いていること以上に話せていたのは、本気になる課題があったので、伝えたい気持ちが強かったからではないか。
 - 友達と話し合う、手紙を書くという活動に対して意欲的な姿が見られた。
 - ▼話し合いの視点をしぼる。共有⇒思いを伝え合う中から似ているところ違うところが出るのではないかな。
 - ▼話し合うことで、共有⇒ワークシートを読むだけでは伝わらないのではないかな。
- 3 「言葉による見方・考え方」を働かせるための手立て**
 - ▼似ているところ、違うところを比べる理由が子ども達におちていたのか。「守り方」について似ているところ、違うところを比べさせるとよかった。
 - ▼似ているところ、違うところをさがすのは、難しかった。聞くだけでは共有できないため、印を付けたり、動作化させたりしてもよかったのではないかな。
 - ⇒タブレットを活用する(比較するため、すぐ読めるように入れておく。動画や音声を入れる)など、本だけではできないこともできる。
 - ⇒「かこむ」「だます」「いどうさせる」など、守り方のキーワードを押さえておくと、自分の調べたことがどれに当てはまるか気づきやすくなるのではないかな。

★岸田 薫先生による講話★

今回、リモートになってしまいましたが、岸田 薫先生より国語科の授業づくりについて、以下の3点についてお話いただくことができました。

- ①子どもがつくる学び**：自分の課題をもち、自分で解決の過程を考え、協働的に学ぶ授業を大事にしていくこと、そのために、その学習がどこにつながるのか、先をみて将来(20歳)の児童の姿までをイメージして1時間1時間の授業をつくるのが大切であるとおっしゃっていました。子ども達にどこまで任せられるか難しいですが、自ら問いを問いだし解決していく授業を目指していきましょう。
- ②学習指導案から**：単元の導入である1時間目が重要であり、言語活動が子どもの「考えたい」原動力となるため、とても大切であることを教えていただきました。また、言葉による見方・考え方を働かせるために「言葉スイッチ」を入れて文章を読む、友達の話を聞く、友達に伝える、自分の考えや振り返りを書くなどを通して、言葉を自覚的に捉えていくこと、これでいいの？と立ち止まる瞬間のある学びも大切であるということ学びました。
- ③学校教育目標の実現に向けて**：目指すところは、学校教育目標であり、どのような児童の姿をイメージしているのか教職員で具現化し、共有しておくこと、そして、そこに向かう意識をもって授業をつくっていくことが大切であると教えていただきました。もう一度、学校教育目標についても考えていきたいですね！

今年度、最後の国語科の研究授業を平野先生が行ってくださいました。1年生の意欲を引き出し、つぶやきや反応を拾いながら丁寧で温かい雰囲気の中で授業をされる平野先生。お疲れさまでした。来年度も国語科の授業づくりについて考え、取組を進め研究実践を深めていきましょう！